



6月12日は「児童労働反対世界デー」

児童労働のない世界へ

ILO・JICA 横浜共催 2008 年児童労働関連イベントご案内



毎年6月12日は「児童労働反対世界デー」です。今年の世界デーのテーマは「児童労働と教育」。国際労働機関（ILO）駐日事務所は、JICA 横浜と共催で広く一般の方々を対象とする児童労働関連のイベントを下記のように開催します。

ILO の最新の推計によると世界では1億6,500万人もの子どもたち（5才～14才）が十分な教育を受けられず、健康を損なう危険にさらされながら、基本的な自由を奪われて働いています。また初等教育期にある7,200万人の子どもが学校に籍すらおいていません。児童労働をなくすためには、無償の義務教育の普及が不可欠です。そして将来、働きがいのある人間らしい仕事（ディーセントワーク）につくためにも、教育と技能の獲得が必要です。TICAD IV（第4回アフリカ開発会議）が横浜で開催される今年、世界、特にアフリカにおける児童労働の実態と教育の普及をはじめとする取り組みについて学び、日本にいる私たちが児童労働の撤廃に向けて何が出来るか考えてみませんか。

●児童労働写真パネル展●

日時：5月18日（日）～ 6月15日（日）9時30分～18時（週末も毎日開館、最終入館17時30分）

場所：JICA 横浜ギャラリー、横浜市中区新港2-3-1／入場自由

最寄駅：馬車道駅（みなとみらい線）4番万国橋出口からワールドポーターズ方向に徒歩10分

内容：アフリカをはじめとする世界各国の様々な産業で働く子どもたちの現状と教育・訓練の役割を紹介する写真と説明パネル約30点、この問題への理解を深める児童労働ボックスの展示。

お問い合わせ先：JICA 横浜 市民参加協力課 Tel:045-663-3220(直)、045-663-3251(代) E-mail:yictpp@jica.go.jp

●児童労働写真パネル展オープニング・イベント● *要事前申込み

日時：5月18日（日）14時～15時30分

場所：JICA 横浜4階 かもめ 最寄駅：馬車道駅（みなとみらい線）

対象：一般（小学校高学年以上～）参加費：無料

内容：ミッシェル・ジャンカニシュ ILO/IPEC（児童労働撤廃国際計画）部長がアフリカにおける児童労働の実態について発表（日英通訳付）、カメルーンのカカオ農園で働く子どもたちの様子を紹介するビデオの上映。

●児童労働反対世界デー・セミナー● *要事前申込み

日時：6月12日（木）18時30分～20時30分

場所：JICA 横浜4階 かもめ 最寄駅：馬車道駅（みなとみらい線）

対象：一般（小学校高学年以上～）参加費：無料

内容：5月に横浜で開催される TICAD IV（アフリカ開発会議）の結果を受けて、特にアフリカを中心とする児童労働と教育の問題を考える。日本の対アフリカ開発・教育支援関係者、ILO から今年の世界デー・テーマ報告等を予定。

*申込み：オープニング・イベントとセミナーについては国際労働機関（ILO）駐日事務所にファックスかメールで FAX:03-5467-2700 E-mail:wycl@ilotokyo.jp、氏名、所属、連絡先（住所、電話番号、E-mail）を明記の上、お申込み下さい。参加者には ILO が作製した児童労働関係資料、児童労働撤廃オリジナル T シャツを差し上げます。

